

第 14 回技術情報検討会議事概要

1. 日 時:平成27年6月1日(月) 10:00~11:10

2. 場 所:原子力規制委員会13階 会議室 B

3. 出席者:

原子力規制庁

櫻田原子力規制部長、大村審議官、山田審議官、佐藤原子力規制企画課長、小野安全規制調整官(PWR)、青木安全規制管理官(BWR)、澤田安全規制管理官(発電炉検査)、前川安全規制管理官(廃棄物・貯蔵・輸送)、青木技術基盤課長、鬼沢安全技術管理官(システム安全)、梶本安全技術管理官(シビアアクシデント)、内田安全技術管理官(核燃料廃棄物)、高松安全技術管理官(地震・津波)、二宮品質管理専門官(廃棄物・貯蔵・輸送)、矢野総括原子力施設管理官(廃棄物・貯蔵・輸送)、阿波安全審査官(PWR)、大塚係員(PWR)

事務局

石井企画官、小林課長補佐、帯刀課長補佐、伊藤専門職

日本原子力研究開発機構

渡邊規制情報分析室長

4. 議題: (1)技術情報の検討について

(2)その他

5. 議事要旨

(1)事務局より、議題(1)「技術情報の検討について」について、資料の順に従って説明した。

○事務局より、「第13回技術情報検討会議事概要」(資料14-1)、「スクリーニングと要対応技術情報の状況」(資料14-2)、「2次スクリーニングの検討状況」(資料14-3)及び「2次スクリーニングで終了とする案件」(資料14-4)について説明があり、了解された。

○「発電所の配電系統電圧の妥当性」について(資料14-5)

- ・ 日本の電力系統には、負荷バランス等の制御により、電力系統の安定性が確保されている。また、原子力プラントに接続されている電力系統は、脱落した場合においても電圧の変動が小さくなるよう計画、運用されていることから、DVRを導入する必要はなく、本件はスクリーニングアウトとする。
- ・ しかし、現状ではスクリーニングアウトとするものの、今後の電力自由化等の動向の変化に合わせて、引き続き注視していく。

○事務局より、「要対応技術情報リスト(累積)」(資料14-6)について説明し、了解を得た。

○日本原子力研究開発機構 渡邊規制情報分析室長より、「17thOECD/NEA/CNRA/WGOE 会合(2015年3月23-26日@OECD)での報告事例(概要)」(資料14-7)について報告があった。

(2)その他

○次回技術情報検討会は、平成27年7月13日(月)10時に13階会議室 B での開催を予定とする。

以上